

【講師ギルド Powerful Woman 紙上講座】

講師ギルド

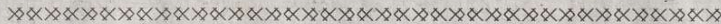
Vol. 429

講師ギルド Powerful Woman の10年
～講師業という生き方～



… 第1回 …

コロナ禍を乗り越え強くなった講師たち



この欄を毎週1回担当させていただいている、女性講師団体・講師ギルド Powerful Woman の代表で、健康法講師の東順子が、この10年間の出来事や会員講師の姿、これからの講師業について5回シリーズでお話します。

5人の女性で起業しました

2013年8月、私を含め5人の女性たちが集まって、一つのビジネスをスタートしました。4人は各分野の講師業であり、一人は広報の専門家でした。

能力も意欲もある女性たちにとって、講師業は安全なスタートであり、新たなビジネスへの足掛かりになる。みんなで講座を受注しよう!震災後の起業・創業ブームの頃でした。でも私たちは、多くの起業塾、創業塾のありがたに、疑問を感じていました。

靴の中の小石

それは、靴の中に入った小石のような感覚でした。起業塾・創業塾の先生達のしていることは正しいのですが、理念やプラン、原価計算だけでは具体的な行動に結びつかないのです。私たちが靴の中の小石をとりぞいて飛び立つためにとった行動は、「私はここにあります」と手を挙げることでした。

具体的には、5人が自分のできる講座の内容を各自A4版1枚のチラシにまとめ、印刷します。そのチラシを宮城県内の公民館をはじめ、市民講座を主催している団体向けに発送するというものです。あの頃すでに私たちはネットを駆使していましたから、よりもよって「紙ですか?」という感じですが、私たちは「紙媒体は大事だ」と信じていました。最初は300部くらいだったかと思います。すぐに反応があり、いくつも講座を受注しました。つまり、「1人よりも5人の情報に価値がある」という発想です。講師情報は多様な方がいいので、すぐに会員を募集しました。

以後年に2回パワフルウーマンのチラシセットは届けられています。そして徐々に知名度が上がり、「パワフルさん」と親しんでいただけるようになりました。

そしてコロナ禍がやってきた

順調に受注を伸ばしていた時にやってきたのがコロナ禍でした。2020年4月の緊急事態宣言により、私たちの講座日程はほぼ全てキャンセルになりました。年度替わりで、もともと講座の少ない時期ではありましたが、スケジュール帳が真っ白になるということは、フリーランス講師にとって死活問題です。

でも、私たちは会の目的

①仕事を増やす ②勉強して自分を磨く
という2つのことを止めるわけにはいきませんでした。

環境に適応するしかありません

7月発行のチラシセットは予定通りに発送しました。そこに各自が掲載したのは「感染に対して安心安全な講座」の数々でした。毎月やっている勉強会は、即座にオンラインに切り替え、録画も見られるようにしました。同時に全員がzoomを使えるように勉強してもらいました。勉強会のテーマは講座の衛生管理であり、新たなテーマを開拓することでした。講師の手元をスライドで大映しにする手づくり講座や、調理室を使わないお料理講座、受講生の密集を防ぐために2つの会場をオンラインでつなぐ講座など、私たちはさまざまなスキルを身につけました。

緊急事態宣言は、その後も何度も発出されましたが、私たちの講座依頼は確実に戻っていきました。そして、2022年末に会員全員の年間総受注数は、団体発足以来の最高記録になっていました。コロナ禍は、どの職業にとってもつらい体験だったと思います。今、代表の私でさえ、「みんながいたから乗り越えたなあ」と思っています。

次回から、会員講師たちの「講師業という生き方」についてお話をしたいと思います。



東 順子 (ひがし じゅんこ)
宮城県遠田郡美里町桜木町60-1

プロフィール

NPO法人日本セラピー普及会 代表
施術室優しい手 代表
講師ギルド Powerful Woman 代表

【お問い合わせ】
TEL/FAX:0229-32-5473
HP「施術室優しい手」
<https://yasashiite.online>

講師ギルド Powerful Woman

公式サイト <https://powerful-woman.net>



Instagram
@powerfulwoman2013



講師ギルド

Vol. 430

講師ギルド Powerful Woman の10年 ～講師業という生き方～

… 第2回 …

「両立」とマルチタスクな女性たち

XX

この欄を毎週1回担当させていただいている、女性講師団体・講師ギルド Powerful Woman の代表で、健康法講師の東順子が、この10年間の出来事や会員講師の姿、これからの講師業について5回シリーズでお話します。



怖い「お局様」とやさしい講師

飾り巻き寿司講師の、じゅんこさん、通称「まきじゅん」さんが、いよいよ定年退職します、とSNSのメッセージで連絡くれたのが2022年の始めでした。フルタイムの会社員で、土日だけ講師活動という生活を7年間続けてのことでした。すでに「お得意様」の依頼先がしっかりついていて一定の仕事はあるので、専業講師として順風満帆の滑り出しだと思っていました。

その後しばらくして、パワフルウーマンの毎月の勉強会で「会社員と講師業の両立」というテーマで1時間くらいお話していただく機会があり、その内容に驚きました。

彼女はその会社に33年務めた、正真正銘の「お局様」で、総務・経理・営業・新人教育までやっていたそうです。「いつも怖い顔をした事務のおバサンでした」と確信を持っています。でも、講座に行くと、やさしい「まきじゅん先生」で、「きれい、かわいい、ありがとう」という言葉に包まれて過ごすことがうれしかったそうです。

最後の最後まで決して会社の仕事をおろそかにしなかったのは、サラリーマンのありがたみを骨の髄まで知っていたから。

定年は何度も延期され（引き留められたのでしょう）、ついに退職したのは、しかし、専業講師として自由に羽ばたくためではなかったのです。まきじゅんさんは平然といい放ちました。「私は今、仙台の自宅と釜石の実家をだいたい半々ぐらいで行ったり来たりしています。95歳の父親と、92歳の母親の介護を、千葉にいる弟ふたりとローテーションで担っています。やっぱり今も両立は続いています。でも、今までやってきたんだから、できないはずはないし、そういう生活の中で、ちゃんと人生を楽しんでいきたいと思っています」

売れっ子講師はホームセンターのパート

DIY講師のひろみさんは、講師業としては初めはちょっと自信なざげでした。でもDIY講師としてデビューすると、みるみる売れっ子になりました。

もともとDIY好きが高じてホームセンターのパート勤務をしていたのですが、相当忙しくなっているはずなのに、やめないのです。それは、一定の収入を確保する堅実さと、講師業に活かせる情報がたくさんあるとか、やっぱり好きなのでしょう。

そのうちお姑さんが高齢で介護が必要となり、こちらは介護制度を上手に使うことでパートも講師業も続け、そして看取りました。彼女の賢さは、自分一人で戦わず、家族を始め周囲の人間関係を常にケアして、味方に引き入れるところですね。

講師・お菓子屋さん・同伴登校

ちえさんは、「調理師ママのアイデア料理」で、かなり人気の講師です。小さな工房を持っていて、小学生の女の子ふたりを育てながら、菓子を製造し、スーパーに納入しています。それだけでも十分忙しいのに、下の子（1年生）が学校に行けなくなりました。カウンセラーに相談したり、いろいろあったのですが、今は一緒に小学校に行きます。そして一緒に授業を受け、給食も一緒（自分はお弁当持参）。ちえさんが講座の時はおばあちゃんが担当。

いつ解決するともしれない現在進行形です。でもちえさんは、学校や、子どもたちを興味津々で観察しているようです。特に給食タイムは食育の専門家でもありますから、とても勉強になるといって、嬉々としています。結婚も子育ても体力が必要です。でもその分、人間としての筋肉がつくのだと思います。



東 順子（ひがし じゅんこ）
宮城県遠田郡美里町桜木町60-1

NPO法人日本セラピー普及会 代表
施術室優しい手 代表
講師ギルド Powerful Woman 代表

【お問い合わせ】
TEL/FAX:0229-32-5473
HP「施術室優しい手」
<https://yasashiite.online>

講師ギルド Powerful Woman

公式サイト <https://powerful-woman.net>



Instagram
@powerfulwoman2013



必要なものも買、親くれたりしているの

たいです。

ンも、いっぱい打ちた

【講師ギルド Powerful Woman 紙上講座】

講師ギルド

Vol. 431

講師ギルドPowerfulWomanの10年
～講師業という生き方～

… 第3回 …

あなたが花になりなさい

この欄を毎週1回担当させていただいている、女性講師団体・講師ギルド PowerfulWomanの代表で、健康法講師の東順子が、この10年間の出来事や会員講師の姿、これからの講師業について5回シリーズでお話します。



選挙演説のような講座

くみさんの初めてのリレー講座は、気の毒なほど緊張して、きれいなお花の講座なのにまるで選挙演説のようでした。それも今となっては懐かしいエピソードです。

お花の先生であるくみさんに、私からのダメ出しは、「あなたが花になりなさい」ということでした。この抽象的な言葉を、どのように受け止めてくれるか、楽しみでした。

一年後、ふたたびリレーセミナーでくみさんの出番がきました。その間に、自宅教室の10周年を記念する大きな発表会をやったり、依頼講座の経験を積んだせいか、風格のようなものを感じます。

それよりなにより驚いたのは、使ったスライドが断然進化しているのです。配付資料もセンスが良くなっています。そういう教材を余裕で使いこなしているため、言葉や動作にも優雅さが出ています。

苦手克服で花になる

そういえば、くみさんはパソコンが苦手でした。苦手だと、スライド操作だけで緊張します。だいぶ前から、彼女がパソコン教室に通っていることは知っていましたが、こんなに上達しているとは思いませんでした。

苦手という余分なものをそぎ取ることで、本来持っている花が自然と出てくる、ということではないでしょうか。

使える人にとってはたかがパソコンです。パソコンが無くてもお花の先生はできるかもしれません。でも、きれいなスライドでわかりやすく見せることは、受講生に対する優しさです。

くみさんが、そこまで計算して生真面目にパソコンの練習をしていたかどうかは分かりません。でも、見事にリベンジしてきたことは確かです。

こっそり負けず嫌いなんです

講師ギルドPowerfulWomanは、毎年9月末に、「来年も会員を継続するかどうか」の確認を取ります。そのうえで11月に新しい会員を募集します。

パステルアート講師のみきこさんが、「継続しない」旨の意思表示をして、その理由を丁寧に書いて送信されてきました。つまり、親が高齢になり、いつなんどきどうなるか分からない。後悔しないようにできる限りのことをしてあげたい。もしも講座をドタキャンするようなことがあってはいけないので、やめたい、こういうことです。

この10年間、私はやめたいという会員を引き留めたことにはないのですが、初めて、ひっかかりを覚え、引き留めるのではなく「反論」しました。

本当のプロ意識とは、いざとなったら拝み倒しても、人にすがってでも仕事を続けようとすることです。それでも世の中は許すものなのです。要するに、そこまでのプロ意識を持ってないということなんじゃないですか？それを親のせいにははいけません。

結局、みきこさんは退会表明を撤回しました。

「私、こっそり負けず嫌いなんですわね」
私はそんな負けず嫌いが大好きです。

覚悟が決まると声が変わる

次のミニセミナーの時、私は心底驚きました。みきこさんが別人のようなツヤのある声を出しているのです。

とても小柄で、もともと保育士さんですから、きれいなお声なのですが、いつも小さな声で迷いながらお話ししている印象でした。でもその日は講座の流れに迷いがなく、高音なのに深みのある、良く通る声です。パステルの作品にふさわしい癒やしの力がある声だと思いました。

うらやましい声です。



東 順子(ひがし じゅんこ)
宮城県遠田郡美里町桜木町60-1

プロフィール

NPO法人日本セラピー普及会 代表
施術室優しい手 代表
講師ギルドPowerful Woman 代表

【お問い合わせ】

TEL/FAX:0229-32-5473
HP「施術室優しい手」
<https://yasashiite.online>

講師ギルドPowerful Woman

公式サイト <https://powerful-woman.net>



インスタグラム
@powerfulwoman2013



す、四、目、は、重、物、と、し、道、重、し、て、し、ま、せ、ん、て、一、二、三、目、は、免、強、で、す、一、た、い、て、す、一、年、と、し、の、ア、ク、シ、ン、の、仕、事、は、具、合、の、悪、し

【講師ギルド Powerful Woman 紙上講座】

講師ギルド

Vol. 432

講師ギルドPowerfulWomanの10年
～講師業という生き方～

… 第4回 …

覚悟「それでも仕事します」

XX

この欄を毎週1回担当させていただいている、女性講師団体・講師ギルド PowerfulWomanの代表で、健康法講師の東順子が、この10年間の出来事や会員講師の姿、これからの講師業について5回シリーズでお話します。



4人の親を介護し看取り死後の整理まで

まりさんは、建築士であり、整理収納アドバイザーです。最近「終活」の講座も増えてきました。

彼女曰く、「一般的には、介護のために働き方を考えるわけですが、私の場合は逆でした。介護を経験したから講師になったのです」

心身がすり減っていきだけの人生が続き、介護が重荷になってしまいそうな日々を、かけがえのない大切な経験にするための唯一の目標が、整理収納の講師でした。

自分の両親と夫の両親合計4人の介護と看取りをする人生の中で、整理収納をはじめ介護制度や死後の整理まで、深く広く勉強し、それを講座として伝えています。

彼女が伝えているのは、「人生の整理収納」なんですね。

限界を超えても介護は続く

姑はアルツハイマーを長く患っていて、その後舅(しゅうと)が脳梗塞で倒れ、最後は寝たきりになります。さまざまなアクシデントの末に、舅を在宅で看取ったのが長女の高校入試2週間前。お葬式での親戚方のバッシング。ズタズタになった心とぐちゃぐちゃになった家の中をなんとかしようと、学んだのが「整理収納」でした。

その後大震災があり、2012年から5年間、被災地の仮設住宅で片付けボランティアをやるなかで、多くの仲間と出会い「スイッチが入った」のだそうです。

アルツハイマーの姑の介護が続く中、まりさんは猛然と勉強し、次々と資格を取ります。そして起業を目指し、起業支援窓口に行ったとき、コンサルタントにいわれました。

「介護が終わってからはしたら?」
終わってからの、いつ終わる?早く終わってほしいと思ってしまうじゃない!と叫びたかった。

自分で調べ自分で決める

相談しても物事は進まない悟り、自分で調べれば何でも分かることに気づきます。そしてどんどん決めていきました。

2018年にパワフルウーマンに入り、仕事が増えて、それでも介護は続いています。利用する施設も制度もケアマネも、どんどん変えます。

なぜなら「私は仕事をするから」

土砂降りの中で

2021年に姑を在宅で看取り、2023年に実の母を看取り、死後整理を済ませるまで、まりさんの介護人生は講師業とともに続いていました。

嵐が過ぎるのを待つのではなく
土砂降りの中でダンスを踊る

Life isn't about waiting for the storm to pass.
It's about learning how to dance in the rain.

- by Vivian Green

この言葉がまりさんの支えでした。

ハッピーチョイス

「整理収納は捨てることではありません。選び取ることで」

まりさんの講座は、いつもこの言葉から始まります。かん高い声で、少し早口で、悲しい話も苦しい話も照れ笑いで包んで。だからよけい悲しさ苦しさ伝わります。

実際まりさんは捨てませんでした。人生の混沌の中からライフワークを選び取ったのです。

本当に、私の周りにはタフな女の人たちがいっぱいいます。



東 順子(ひがし じゅんこ)
宮城県遠田郡美里町桜木町60-1

プロフィール

NPO法人日本セラピー普及会 代表
施術室優しい手 代表
講師ギルドPowerful Woman 代表

【お問い合わせ】

TEL/FAX:0229-32-5473
HP「施術室優しい手」
<https://yasashiite.online>

講師ギルドPowerful Woman

公式サイト <https://powerful-woman.net>



インスタグラム
@powerfulwoman2013



居坂中村坂跡に現在一

源五衛門は吉学7

屈龍にとんだ焔物であ

夫方の家に入る

い付ける習慣た

卯4個

ン171

講師ギルド

Vol. 433

講師ギルド Powerful Woman の10年 ～講師業という生き方～

… 第5回 …

100年ライフ～タフでなければ生きていけない～

XX

この欄を毎週1回担当させていただいている、女性講師団体・講師ギルド Powerful Woman の代表で、健康法講師の東順子が、この10年間の出来事や会員講師の姿、これからの講師業について5回シリーズでお話します。



激動の時代

講師ギルド Powerful Woman は、昨年10周年を迎えました。この10年を振り返りますと、一言でいえば激動の時代だったと思います。発足時の2013年は大震災の復興真ただ中であり、あらゆることが震災抜きには語れません。そして2020年からは新型コロナウイルスによるパンデミックの時代。その中で着実に進んでいる気候変動。日本の少子高齢化が、さまざまな社会機構を変えつつあります。そしていま最も恐れるのは、戦争の靴音が近づいていることです。

時代は厳しさを増しています

講師業という職業から考えたとき、まさに私たちは時代に振り回されてきました。しかし、冷静に考えれば、時代に振り回されながらも、時代から多くのことを学んできたともいえます。震災の体験から各分野で防災を学び、これを講座として公開している講師もたくさんいます。コロナ禍では素早くオンライン対応をとり、講座のやり方自体を大胆に変更しました。感染予防のスキルも身につけました。その結果、仕事の量はコロナ前よりも増え、2022年には全員の総受注数は発足以来最多となりました。

タフでなければ生きていけない

2人に1人は100歳といわれる時代、けれども私たちの100年ライフは生やさしいものではありません。あらゆる面でタフでなければ、少なくとも職業人としては生き抜けないと思います。そのときに最も大切なのは、真摯(しんし)な態度で時代から学ぶことです。

タフであるということは、体や心が丈夫であることはもちろん、時代の要請に柔軟に適應するという、変化に対するタフネスでもあります。

そして私たち大人の最大の責任は、次の時代を担うタフな子どもたちを育てることです。

講座の現場から見えるもの

私たちは、公民館を始めとした、市民講座にたずさわる講師です。私自身も、健康法の講師として年間300本を超える講座で、ゼロ歳から100歳近い受講生とお会いしています。そこから見えてくるのは、参加される受講生の年齢層が確実に上がっていることです。それ自体は日本の人口構成の推移を反映しているわけですから当然のことですが、心配なのは全体的に身体能力が落ちていることです。「運動不足は世界的パンデミック」ということは、コロナ禍のずっと前2016年にはすでに医学雑誌「ランセット」がとりあげ、WHOも警告を発しています。そこに2020年からのコロナ禍が追い打ちをかける形になりました。体・心・脳・手先の器用さなど、人間の様々な機能は使わなければすぐに退化します。退化とは静かに弱っていくのではなく、ほとんどの場合どこかに痛みなどの症状をもたらします。私の講座で言えば、膝や腰が痛くて立ってやる運動が辛い人が多くなっています。手作り系の講師がいうには、「手先の器用さがなくなって、簡単なものが作れなくなってきた」そうです。

豊かな100年ライフを

公民館の市民講座にいらっしゃる中高年の方々だけでなく、現役世代も、若者も、子どもたちも、同じように100年ライフの途中を生きています。仕事だけでなく、学校の勉強だけでなく、多様な学びや体験を提供するのが、私たちの仕事です。時代から学び、環境に適應しながら10年後20年後も活躍できる講師でありたいと願っています。



プロフィール

NPO法人日本セラピー普及会 代表
施術室優しい手 代表
講師ギルド Powerful Woman 代表

【お問い合わせ】

TEL/FAX:0229-32-5473
HP「施術室優しい手」
<https://yasashiite.online>

東 順子 (ひがし じゅんこ)
宮城県遠田郡美里町桜木町60-1

公式サイト <https://powerful-woman.net>



インスタグラム
@powerfulwoman2013



て... 例えは... 公務員... 難しい... 一した... 一医さん... (Vertical text on the right margin)